

放射光を利用したサイエンスの展開と次世代放射光への期待

2022年2月4日(金)

野依物質科学研究館 2階講演室+オンライン

高輝度放射光源を利用した先端計測の急速な発展により、分子、マテリアル、生体物質に至るまでの幅広い対象において、他の光源では実現できない可視化計測や精密分析が進んでおり、物質科学や生命科学分野のサイエンスの発展において、放射光利用の重要性は益々増加している。本シンポジウムでは、物質科学から生命科学に至る広範な学術分野における放射光を利用したサイエンスの展開と、現在東北で建設が進められている次世代放射光の利活用の可能性について、議論する。

プログラム

(第一部：オンライン+物国2階講演室)

(司会：水口 将輝)

- | | | |
|-------------|--------------------------------|--------------|
| 12:30-12:35 | 開会の辞 | 國枝秀世 (名大参与) |
| 12:35-13:00 | 軟 X 線で高分子のまわりの水を可視化する | 原田慈久 (東大物性研) |
| 13:00-13:25 | 硬 X 線イメージングによる 4D 時空間フロンティアの開拓 | 矢代航 (東北大) |
| 13:25-13:50 | TBD | 中村哲也 (東北大) |

(第二部：学内限定)

(司会：唯 美津木)

- | | | |
|-------------|---|---------------|
| 14:10-14:25 | Operando XAFS イメージングと反応インフォグラフィ | 唯美津木 (物国セ) |
| 14:25-14:40 | 全反射ミラーを使った色収差のない X 線顕微鏡の開発とその応用 | 松山智至 (工学研究科) |
| 14:40-14:55 | ソフトマター分野における放射光小角 X 線散乱の重要性：
時間分解測定による動的過程のその場観察 | 高橋倫太郎 (工学研究科) |
| 14:55-15:10 | 金属酵素の活性種と反応を可視化する | 莊司長三 (理学研究科) |
| 15:10-15:25 | 三次元微小解剖学発展のための X 線 CT | 砂口尚輝 (医学研究科) |
| 15:25-15:40 | X 線小角散乱法の発展とコロイド結晶成長の新展開 | 田川美穂 (未来材料) |
| 15:40-15:55 | 次世代放射光源が拓くスピントロニクス研究の新展開 | 水口将輝 (未来材料) |

(司会：松田 亮太郎)

- 15:55-16:30 総合討論

世話人：

- 唯 美津木 (物質科学国際研究センター/理学研究科 物質理学専攻 (化学系))
水口 将輝 (未来材料・システム研究所/工学研究科 物質プロセス工学専攻)
國枝 秀世 (参与)

申込先：tadasec@chem.nagoya-u.ac.jp にメールで御氏名と御所属をお送りください。